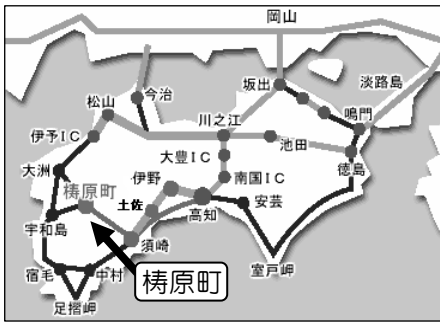


# 住民主体のまちづくり 高知県・梼原町

## ◎梼原(ゆすはら)町について

坂本龍馬の脱藩の道として知られる高知県梼原町。高知を出発した龍馬は、梼原を経由して今の愛媛県・長浜に抜け、ここから船で上関へ渡り一泊。翌日には三田尻へ向かったといわれていますが、その話はさておいて、今回は梼原町のまちづくりのお話です。



梼原町は高知県と愛媛県の県境にある人口約3千9百人の町。人口規模では上関町とほぼ同じです。清流四万十川の源流域に位置し、森林率が91%という山間の町です。

## ◎まちづくりのスタート

梼原町のまちづくりは、まちを通る国道の拡幅工事がきっかけとなって始まりました。もともとこの区間は道路の幅が狭く、お年寄りや子どもにとって、危険な道路だったため、平成7年から地域住民から委員を選んで、道路整備やまちづくりについて様々な検討を行ったとのこと。

当時、梼原町長だった中越さんは、「道路整備はまちを元気にするための手段と考え、地域活性化のための施策を住民主体で検討していただきました」

た。当初は要望ばかりが多かったのですが、先進地視察や協議を繰り返す中で、将来この町がどうあるべきか、どうすればいいのかなど、各自の熱い思いや夢が大きく膨らみ始め、自分たちでできることは自分たちで取り組もうという姿勢が芽生えてきました。」と、当時の様子を話されています。

## ◎住民によるまちづくりの会が発足

その後、住民組織が主体となり、新しい道路の路線決定のためのアンケートや地元説明会も行われたとのこと。そして、平成12年に、この住民組織が「道路だけが良くなるのではない。まちを活気づけるために、まちづくりのことも考えていこう。」と、梼原町再生委員会(通称 たくみの会)を発足しました。

たくみの会では、「これからも住み続けたいまち、みんなが訪れてみたいまちにしよう!」と、さまざまな分野の人たちが集まって、未来への夢を語り、自分たちのまちへの誇りを持ちたいという熱い思いでまちづくりに取り組んでおられます。新しくなる道路の歩道の舗装の種類や街灯、街路樹も自分たちで決め、愛着を持つために自分の家の前の歩道の植樹帯は自分たちで管理されているとのこと。

## ◎商工会青年部も動き出す

このような動きに呼応するよう形で、梼原町商工会青年部も「これから梼原を背負っていく若い立場・視点でまちを動かしたい」と、新しくなった

道路の歩道で、ビアガーデンや野外ライブなどを開催し、自分たちでできる自分たちも楽しめることを考えて、元気なまち梼原を一緒に盛り上げていこうとがんばっておられます。

## ◎「環境モデル都市・梼原町」へ

そして、今注目されているのが、「環境モデル都市」としての梼原町です。平成11年、前出の中越さんが町長の時、梼原町では2基の風車を設置。この風力発電の売電で得られる年間4千万円の収益を環境基金として積み立て、それを他の自然エネルギー採用の財源にするという循環を作りました。

この時も、町の環境政策の中心になったのは、公募によって選ばれた15人の町民でした。中越さんは「一般的には町の構想をコンサルタント頼みにすることが多いけれど、私は、町をどうするかは町民自身が考えるべきだと思っていました。」と言われます。

公募で選ばれた18歳から74歳までの委員に、それぞれの思いのすべてを述べてもらい、そこから、環境、健康、教育を中心としたまちづくりの方向性が決まったといえます。町は、この15人をドイツやスイスなど先進地の視察に派遣し、帰国後に町民への詳しい報告と、町への提案をしてもらったといいます。これにより、「地域が一体となって一つの目的に進みました。」と中越さんは振り返ります。

平成12年には、森林づくり基本条例を制定し、「森との共生」に乗り出しました。荒れて放置されたままだった

森林に手を入れることで森がよみがえり、雇用が生まれました。間伐で切った木は木質ペレットに加工し、バイオ燃料に活用。心身のリフレッシュに役立つ「森林セラピー」のコースを整備し、都会からの観光客を呼び込みました。

この森を源流とする四万十川の水の利用した三つの小水力発電所を造り、発電した電気は昼間は中学校に、夜は街灯に使われています。

役場や学校には太陽光発電を取り付け、地熱を利用した温水プールも造りました。町民にも太陽光発電を取り付けた家にキロワットあたり20万円の助成を拠出し、今では四国一の普及率になっています。こうした取り組みが評価され、梼原町は国が選定する「環境モデル都市」に選ばれました。

## ◎「人」を活かす

中越前町長は「行政は建物などを『造る』ことに力を注ぎがちですが、いかに『将来に活かす』かを考えるのが大切です」と説きます。自然を活かし、人を活かす。そして、町民の力を活かす。住民が自発的にやる。住民の力を活かし、住民と行政が一体となって町を支える。それが実現されているのが梼原町のすばらしところだと思えます。



住民主体のまちづくりを!

### 暑中お見舞い申し上げます。

わいわいタイムス編集部

◎「わいわいタイムス」は毎月第一日曜日発行。  
9月号は9月4日(日)発行予定です。

### パソコン出張サポート

パソコンの設定・トラブル対応 etc.

◀ お申込みは ▶

携帯 090-8069-5066 へ  
ハッピーアイランド企画 (国弘)

### 家庭教師やります

週1回 月4回 夏期講習もやります

詳細はお問い合わせください◎

どの教科でもOKです

090-9819-3807 skytree.maiu@gmail.com

東洋英和女学院大学大学院修士課程卒 上田麻衣

### 英会話・通訳・翻訳(日英)

英語を話すお手伝い! 各種試験対策も

津高絵美(27歳)スウェーデン大学院卒→国連勤務・国連会議出席→通訳経験多数→TOEIC960→

お気軽にお問い合わせください

☎080-5184-2372 emitsudaka@gmail.com